

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2022年3・4月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第625号

京都洛北にある関西セミナーハウスは、講演やアカデミー運動の中心となる「はなしあい」を宿泊しながら行うことができる施設であると共に、企業などの泊まり込みの研修、観光客の宿泊にも使われる公益財団法人日本クリスチャン・アカデミーの重要な公益と収益の事業拠点です。修学院離宮と曼殊院に囲まれ、近くに詩仙堂などもある比叡山の麓の静かな環境にあり、春は桜、秋には紅葉、また遠くに見える西山連山の四季折々の景色に心癒されま

す。昼間の講義、講演、講座とともに、夕食後の大浴場の銭湯談議や、時には一杯飲みながら心ゆくまで話し合いができるのが、セミナーハウスの大きな魅力です。

2019年までは、年間利用者約8000(人・泊)で推移しており、そこからの収益、皆様からの会費、ご寄付により、セミナーハウスの運営とともに修繕のための積立も行うことができておりました。主な支出は、宿泊業務にかかる経費、施設・設備の管理・修繕費用および税金、そしてそこで働いていただいている方々の人件費などです。

しかし2020年からのコロナ感染症の拡大の打撃の影響

響は大きく、10月より全面休業を決断いたしました。再び宿泊を伴う研修や講演会などを行うためのセミナーハウスを維持するためには、本部の資金を取り崩しながら、耐え忍ぶことになりました。本館の建物すべてを閉館とし、事務所は日本家屋の畳に合板を敷き仮事務所として移転、和室はリモートでも使える会議室

「関西セミナーハウスの事業再開」に向けて



財団理事

神保 正男

と同じく設えました。同時になるべく早い時期にセミナーハウスを再開するための方策を探るための「施設再生プロジェクトチーム」を立ち上げ、セミナーハウスの運営方法のあり方を設備の維持管理を含めた財務面、経営面から検討をはじめました。

特に大型冷蔵庫などの厨房設備、大浴場のボイラー、エ

レベーター、日本家屋など傷みがひどく、大規模な修理・修繕が必要なこともわかってきました。その修理修繕、維持管理の人件費も含め年間800万円近くが見込まれています。

そのような現状ではありませんが、将来の新しい経営形態でのセミナーハウスの開業を

見据えて、2021年10月より「パイロット事業」として少人数に限定して利用していただく企画をいくつか開始しました。コロナ対策に関しては、国ならびに京都府の補助金を最大限に活用し、万全を期しました。セミナーハウス独自のコロナ対策として、「密」を避けるため宿泊はツインルームもすべてシングル使用としたため従来の半分以下の人数しか宿泊利用できな

いことや、朝食は弁当に限定、大浴場は休止、ロビーでの飲食は禁止などご不便をおかけすることなどをご理解いただいたうえで、第一回目を実施いたしました。最低限の従業員数での対応など不便な点を容赦いただきながらのパイロット事業ではありましたが、職員の頑張りでもあり、ご利用後のアンケートでは「ほぼ満足できた」との回答をいただきました。「できるならセミナーハウスの素晴らしい環境の中で研修を行いたい」と思っている」という研修担当者声もあり、事務局には大きな励みとなりました。

次なる感染症などの大きな災害などが起こっても、あるいは、以前のように常にほぼ満室になる状況でなくても、セミナーハウスを維持できる経営体制を求めていかなくても、事業は重要な試金石になると考えています。

セミナーハウスがこの比叡山の麓で再び立ち上がり、「はなしあい」の火を灯し続けていけるよう、手探りをしつつ、再開に向かって歩んでいく所存です。

皆様の一層のご理解、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(学校法人東京女子大学 監事)

関東活動センター

「関東活動センターの近況報告」

関東活動センター運営委員長 戒能 信生

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、関東活動センターの諸活動にも甚大な影響を及ぼしました。共に集まること自体を避けなければならぬというのです。これは「はなしあい」を基調とするアカデミー活動自体の危機と言わなければなりません。

そんな中で、関東活動センターは、プログラムの多くを、オンラインでの開講に切り替えることとしました。先ず長年継続して来た山口里子講師による聖書講座「マルコ福音書をじっくり読む」を全面Zoomに切り替えました。当初、どれくらい受講者が見込めるのか、これまでの熱心な参加者はリモート講座に対応できるだろうかと不安でした。ところが、2020年度のこの講座(第3期)には、90名近い参加申し込み者が与えられ、しかも全国各地から、さらに外国からの参加者も含まれるのです。「山口

毎月第3木曜日の午後、継続されます。

このようにリモート講座に多くの受講者が集まる一方で、ITに不慣れな人々のことを考慮して、聖書講座「上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もう」は、Zoomと対面とのハイブリッドで開講しました。多数ではありませんが、やはり対面での講座を望む受講者が毎回熱心にマスク着用で参加しておられます。この講座は、2021年度(第III期)で創世記冒頭の創造物語を読み終わり、講師の希望でいったん閉じることになりました。毎回丹念な準備をされて魅力的な語り口で創造物語の神髄を紹介してくださった上林先生に心から感謝しています。なお、この聖書講座を引き継ぐ形で「若い世代と共に聖書を読むとは(仮題)」「講師・野田沢川学生キリスト教友愛会(SCF) 主事」を、9月から毎月リモートで開講する準備をしています。ご期待ください。

その一方で、特に音声を発表するプログラム、「教会と音楽 讚美歌を中心として」講師・小海基」と「言葉を届け

るトレニング」(講師・友野富美子)は、残念ながら20年度、21年度開講を断念せざるを得ませんでした。共に集まるだけでなく、いずれも発声するプログラムであるところから、パンデミックが収束した後に改めて開講したいと願っています。

また今や関東活動センターの基幹プログラムとも言える「神学生交流プログラム」は、二泊三日の合宿形式の研修会であるところから、19年度、20年度と二年続けて中止とせざるを得ませんでした。しかし2022年3月15・16日に、全面リモートの形で第11回を実施すべく、鋭意その準備を進めています。既に各学校から神学生たちが推薦されてきていますし、昨年参加予定であったメンバーにも呼びかけてのプログラムになります。校長の神田健次先生も講師の廣石望先生も張り切ってその日を待っているところです。なお、このプログラムの第1回から第10回までの講演を書籍化した『次世代への提言!』が新教出版社から刊行されています。

座に多くの潜在的な需要が全国にあることに対応して、2022年度は、新たに「文学とキリスト教」「キリスト教と美術」の二つの講座をリモート開講します。「キリスト教文学に学ぶ」(全10回 毎月第3水曜日午後、講師・柴崎總川文劇評論家)、「超入門!西洋美術史 キリスト教美術を中心に」(全7回 月から毎月最後の月曜日、講師・太田智子川梨県立美術館学芸員)がそれぞれです。いずれもZoomの画面共有機能を用いて、文芸テキストや歴史的美術作品を見ながらの講座となります。是非とも多くの受講者をお待ちしています。

東京西早稲田の日本キリスト教会館1階にある関東活動センターの事務所は、コロナ禍の中で、原則として毎週木曜日に開室し、ボランティアの神保信子さんを中心に事務処理や会計業務を担ってくれています。またリモート講座は、早稲田奉仕園との共催プログラムとして、そのスタッフの絶大な支援を受けていることを、感謝を込めて付け加えておきます。

関西セミナーハウス活動センター

●2021年度「開発教育セミナー」第5回
「持続可能な食と農をめざして」
「食料主権をとりもどす」

講師 龍谷大学経済学部教授 西川 芳昭さん
2021年11月14日(日)
会場：京都市地域多文化交流ネットワークサロン



第1セッションは、自己紹介とともに昨日の夕ご飯のメニューを交流することから始まった。現代は農と食が離れ、自分で選んでいるように思っているだけで、実は大手穀物・食品企業が買わせたものを買っている。遺伝子組み換え作物は、もともと環境保全のために開発されたが、食べ続けたときの悪影響や自然界のバランスが崩れたり、特許による食の囲い込みが起きたりとデメリットも大きい。安全であるかどうかは、個人や立場によって異なってくる。主

観的にしか認識できない環境界に生きていることを自覚しながら、どのような食と農が望ましいのかを考えていく必要がある。

第2セッションの話は、食をめぐる世界の枠組みと日本の食の多様性であった。私たちは、三千万種と言われる生き物たちの豊かな個性とつながりの中に生かされている。しかし、近代消費社会では、作物はグローバルゼーションの最先端となり、儲けるためにタネも囲い込むようになった。種子は、土地・水と並んで農業に不可欠の物であり、人類共通の祖先である。種子を守ることは人類の共有財産として分かち合うという考えが大事になる。

第3セッションでは、これからの食と農をどう創るかを

考えた。コロナ禍で食料の輸出規制を行う国が多数あったが、日本の食料自給率は下がりが、30年間で農業従業者は1/3になり、耕地面積も1/10なった。安全で美味しい食べ物を手に入れるためには、生産者だけにリスクを負わせないように、みんなで農

を守り、生命を守る暮らしを創っていく必要があると、食と農をめぐる問題の本質を探る多様な視点と考え方を提供していただいた。今年度はじめて対面でのセミナーとなり、時間的にゆとりじっくりと話を聴き、対話することができた。

●2021年度 修学院フォーラム「福祉」第2回
出版記念トークイベント×はなしあい
「あっち側の彼女、こっち側の私」

ゲスト
結生さん(著者)
小坂綾子さん(著者、ライター)
2022年1月29日(土)
会場：京都YWCAとオンライン

京都YWCAの自立援助ホーム「カルーナ」のかつての入所者と、元新聞記者の交流から上梓された本『あっち側の彼女、こっち側の私』の出版記念を兼ねて企画された。ゲストの結生さんは、現在の生活拠点が遠方のため来場が叶わず、会場の小坂さんとZoomで結んで対話された。

ゲストの著者お二人による出版に至るまでの「関わり・

対話」が、取材する側とされる側という関係を越えて、それぞれが自分の人生を振り返る作業だったという経験を聞いた。「あっち側」「こっち側」の境界線は動くものであり、遠い存在のように見えても、個人の内面の葛藤には「同じ」を見出すことが少なくないというメッセージでもある。その後、参加者間の「対話(はなしあい)」を通して、対話し、人と関わることで、自身の振

り返りと次へのステップにつながることを改めて実感することができた。さらに、社会的養護出身者とかかわり方、地域での生活応援の場面で「支援者」のあり方について話し合った。様々な立場や経験をもつ参加者を交えた小グループのトークセッションで深めていき、各グループの報告で、学びを共有した。自省する力(揺らぐこと、自身への問いかけ)を抱きながら、「支援者」としての属性にとらわれすぎず、目の前にいる「あなた」にどこまで「わたし」を開いてつながっていくのか、一人の人間として真摯に目の前の人と向き合う姿勢が問われていることを受け止めた。



プログラム案内

◆関東活動センター

■神学生交流プログラム

日程:3月15日(火)~16日(水)
方法:オンライン
校長:神田健次さん(関西学院大学名誉教授)

参加者:各神学校から推薦を受けた学生他

■2022年度 聖書を読む講座II

(共催:早稲田奉仕園)

「マルコ福音書をジックリと読む」第5期

講師:山口 里子さん(聖書学者)

日時:4月12日~2023年2月、

第2火曜18:30~20:00

参加費:全10回8,000円(学生4,000円)

方法:Zoomによるオンライン講座

■2022年度 宗教対話II

(共催:早稲田奉仕園)

連続講座「キリスト教文学に学ぶ」I

講師:柴崎總さん(文芸評論家)

日時:4月20日~2023年3月、

第3水曜(8、12月除く)

参加費:全10回8,000円(学生4,000円)

方法:Zoomによるオンライン講座

■2022年度 宗教対話III

(共催:早稲田奉仕園)

連続講座「超入門!西洋美術史ーキリスト教を中心としてー」

講師:太田智子さん(山梨県立美術館学芸員)

日時:5、7、8、10、11、1、2月最終

財団本部

http://www.academy-nippon.com

関東活動センター

http://www.academy-tokyo.com

関西セミナーハウス

http://www.kansai-seminarhouse.com/

関西セミナーハウス活動センター

http://www.academy-kansai.org

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 中村 信博

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23

TEL 075-711-2147

FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

日本キリスト教会館1F

TEL 03-3207-6198

E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23

FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115

E-mail:info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117

E-mail:office@academy-kansai.org

月曜13:00~15:00

参加費:全7回6,000円

方法:Zoomによるオンライン講座

◆関西セミナーハウス活動センター

■2022年度修学院フォーラム「いのち」

第1回「世界の農村指導者と『共に生きるために』を目指して~アジア学院50年の働き~」

講師:荒川 朋子さん(学校法人アジア学院 校長)

日時:2022年4月23日(土)

13:30~15:50

参加費:1,500円(学生500円)

方法:会場(関西セミナーハウス)とオンライン(Zoom)

■2022年度修学院フォーラム「社会」

第1回『ジェンダー正義』をめぐるエキュメニカルな議論と実践

講師:藤原 佐和子さん(日本キリスト教協議会(NCC)書記)

日時:2022年5月21日(土)

13:30~15:50

参加費:1,500円(学生500円)

方法:会場(関西セミナーハウス)とオンライン(Zoom)

◇書籍案内

脱原発の必然性とエネルギー 転換の可能性

地震国日本の現実とドイツの先例から考える



修学院フォーラム「エネルギーを考える」第7回(2019年1月)記録集 日本クリスチャン・アカデミー編 / 竹本修三、木村護郎、クリストフ 著 (新教出版社刊)

2022年3月1日発行1650円(本体1500円)

次世代への提言! 好評発売中

神学生交流プログラム講演記録集



10年におよぶユニークな神学生交流の場で、次世代の教会のために語られた至言の数々。日本クリスチャン・アカデミー・関東活動センター編 (新教出版社刊)

2020年7月22日発行2310円(本体2100円)

☆お求めは、関東・関西活動センターへ

関西セミナーハウス休館解除のお知らせ

この度おかげさまで、本年4月1日より臨時休館を解除する運びとなりました。

当面の間、客室はシングル使用、1団体様貸切など、一部制約がございますが、様々なコロナ対策を施しながら営業してまいります。ウェブ会議システムを導入し、対面とオンライン併用のハイブリッド型研修も可能となりました。皆様のご利用をお待ちしております。詳細、ご予約については、関西セミナーハウスHPに掲載しておりますので、ご参照ください。

なお、個人宿泊プラン、喫茶営業は引き続き休止しております。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



賛助会費・寄付金報告

2022年1月1日~1月31日

(順不同・敬称略)

◆財団本部

徳丸 延子 1,000,000

◆関東活動センター

寄付金 横浜雙葉中学高等学校 20,000

クリスマス寄付金

恵泉女学園中高・宗教部 20,000

友野 富美子 3,000

日本基督教団洛南教会 3,000

池内 友子 2,000

藤 知佳 5,000

最上 光宏 3,000

日本基督教団市川三本松教会 2,000

日本基督教団千代田教会 10,000

日本基督教団浦安教会 5,000

日本基督教団ひばりが丘教会 5,000

日本基督教団原宿教会 10,000

神学生プログラム寄付金

日本キリスト教団須賀川教会 3,000

太田 春夫 2,000

加藤 真規子 3,000

学校法人 西南学院 50,000

日本聖書神学校 30,000

西川 優子 5,000

◆関西セミナーハウス活動センター

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

伊藤 威知郎 1,000

山本 俊正 5,000

李 善恵 5,000

在日大韓基督教京都教会 10,000

藤永 春子 3,000

吉田 力 5,000

匿名 9,882

匿名 2,380

脇坂 照世 3,000

斉藤 洋子 3,000

日本基督教団洛南教会 3,000

日本基督教団世光教会 10,000

日本基督教団伊丹教会 10,000

以上感謝をもってご報告申し上げます。